

アームダンパーの効果(2)

—Garad401—

1. 始めに

前報(1)に引き続き、インフラノイスのホームページで紹介のあったアームダンパーを試してみます。

2. アームダンパーの試聴計画

インフラノイスのホームページで紹介のあったアームダンパーを試してみます。前報(1)の結果を受け、糸糸を Garad401 のアームの FR-45S の可動部と固定部の間の軸に巻き付けます。糸糸は前報(1)のものと同じものです。

試聴する音源は前報(1)と同様、次のとおりです。

Archiv 28MA 0020

バッハ チェンバロ協奏曲集

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート

Camerata Tokyo CMT-1002

ロッシーニ チェロとコントラバスのためのデュオニ長調他

イエルク・バウマン (チェロ)

クラウス・シュトール (コントラバス)

3. アームダンパーの試聴結果

バッハのチェンバロ協奏曲集では、チェンバロの低音と通奏低音に注目して聴いていきます。ロッシーニのチェロとコントラバスのためのデュオでは、チェロの低音とコントラバスのそれぞれ低音に注目して聴いていきます。

今回の糸糸のアームダンパーの場合、次のような結果が得られました。

糸糸を FR-45S の軸に巻きつけようとしたのですが、可動部と固定部の隙間が狭く糸糸が軸に届きませんので、一応外部に巻いた状態にしました。アームの高さの調整をすればいいのですが、VTA が変わるので望ましくありません。



以上のような状態では、バッハのチェンバロ協奏曲集では、毛糸のあるなしで変化はありませんでした。

ロッシーニのチェロとコントラバスのためのデュオも同様にほとんど変化がありませんでした。

4. まとめ

毛糸を巻き付けるアームダンパーを **Garad401** のアームの **FR-45S** にセットする効果は、アームの構造上効果を発揮することができませんでした。

以上